

平成23年度

履修の手引

新潟大学理学部

目 次

1	入学にあたって	1
2	新潟大学理学部規程	2
3	新潟大学における授業科目の区分等に関する規則	13
4	履修の心得	15
5	教育職員免許状の取得について	19
6	学芸員の資格取得について	25
7	理学部の組織	26
8	大学院の組織	26
9	自然科学研究科の構成	27
10	教授会	28
11	事務	28
12	理学部教員一覧	29
13	理学部講義室等案内図	30
14	理学部周辺案内図	35

1. 入学にあたって

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新潟大学理学部は学ぶ意欲に満ちた皆さん方の入学を心から歓迎いたします。皆さんはこれまで小学校から高校まで多くのことを学んできたことと思いますが、これからは新潟大学理学部でさらに高度な教育を受けることになります。

皆さんの入学した理学部は基礎科学を学ぶ学問の府です。理学は数理やミクロな世界から宇宙に至るまでの自然の仕組みを解明するものですから、純粋科学としての知的関心が学びの原動力となります。しかし、純粋科学はその世界だけに閉じているものではなく、現代の情報技術の開発、先端技術の開発、新素材の開発、自然環境の保全など社会に深く関わっています。したがって、理学を学び継承・発展させて行くことは、純粋科学の発展に寄与するとともに社会からの要請に応えるものなのです。皆さんのこれからの学びは、自らの知的関心にとどまらず、社会的期待をも担っているのです。2008年度と2010年度、日本人研究者がノーベル物理学賞とノーベル化学賞を受賞しました。これらの研究は純粋科学であり、日本の理学の水準の高さを示しています。皆さんは、優れた先人の後を追って理学の高い峰へと向かってください。

まず入学後、理学部では「大学学習法」という授業を履修し、4年間の勉学を展望します。純粋科学の高い峰に到達するためにはルートマップを知らねばなりません。この授業が最初の導き手です。そこでは生涯にわたるキャリア形成の重要性も学ぶこととなります。一方、新潟大学学生にふさわしい教養を身につけることも大切です。さらに、専門教育をうけるための自然系共通専門基礎科目群も履修する必要があります。それらの基礎の上に立って専門科目を学びます。これらの専門科目の構成は、皆さんの先輩方の長年の学びから、試行錯誤をかさねて作り上げてきたものです。これらの内容を身につけることは、皆さんのこれからの人生において財産となります。それにとどまらず、みなさんは「理学」のセンスも身につけることができます。知識は時代とともに変転してゆきますが、理学部での勉学から身につけたセンスは、変化の時代に強みを発揮します。理学の問題解決の方法論は、社会の多くの場で通用する汎用性があるのです。

この「履修の手引」は、理学を系統的に学ぶため、皆さんが大学を卒業するまでガイドの役割をします。手引きをよく読んで理解しておくことは、皆さんの大学生活においてきわめて大切なことです。不明な点があれば、自己流に解釈せず、身近にいる教員や学務係に相談してみてください。確かな答えが返ってくるはずですが、それらの相談がのちに履修の大きな失敗を防ぐ最もよい手立てです。これから始まる大学生活において、自分の学びのプログラムを作成して有意義な学生生活を送るために、「履修の手引」を有効に活用して下さい。

理学部長 谷本盛光

2. 新潟大学理学部規程

〔平成16年4月1日〕
理規程第1号

(趣旨)

第1条 新潟大学理学部(以下「本学部」という。)の教育課程の編成、学生の履修方法、卒業の要件等に関し必要な事項については、新潟大学学則(平成16年学則第1号。以下「学則」という。)に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(本学部の教育研究の目的)

第1条の2 本学部は、数学と自然科学の基礎研究に基づき、基礎的な専門知識と深い教養を備え、課題探求能力と総合的判断力及び国際性、社会性を身につけた人材を育成することを目的とする。

(学科)

第2条 本学部に、次に掲げる学科を置く。

数学科
物理学科
化学科
生物学科
地質科学科
自然環境科学科

(教育課程)

第3条 本学部の教育課程は、教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目により編成するものとする。

2 専門教育に関する授業科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目に分ける。

(履修方法)

第4条 学生は、別表第1の定めるところにより、教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目について、124単位以上を修得しなければならない。

2 別表第1に規定する教養教育に関する授業科目の科目区分等及びその科目区分等に基づく授業科目は、新潟大学における授業科目の区分等に関する規則(平成16年規則第38号。以下「授業科目の区分等規則」という。)の定めるところによる。

3 外国人留学生等が、授業科目の区分等規則別表に規定する科目区分の留学生基本科目に属する授業科目を履修し、その単位を修得したときは、日本語の授業科目については4単位までを英語又は初修外国語に属する一つの外国語の授業科目の単位に、日本事情の授業科目については4単位までを自然科学又は人文社会・教育科学に属する授業科目の単位に代えることができる。

4 別表第1に規定する各学科において履修すべき専門教育に関する授業科目及びその単位数は、別表第2に定めるところによる。

(履修手続)

第5条 学生は、学期の始めに履修しようとする授業科目を選択し、その授業科目の担当教員の承認を得なければならない。

(追試験)

第6条 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができない学生については、本人の願い出により、追試験を行うことができる。

2 前項の追試験の願い出、評価等については、別に定める。

(再試験)

第7条 教養教育に関する授業科目について、卒年次学生で1科目(外国人留学生等である場合は2科目)不合格のため、卒業できない学生については、本人の願い出により、再試験を行うことができる。

2 専門教育に関する授業科目については別に定める。

(教員の免許状)

第8条 本学部において、取得することができる教員の免許状の種類及び免許教科は、次の表に掲げるとおりとする。

学科	教員の免許状の種類（免許教科）
数学科	中学校教諭一種免許状（数学） 高等学校教諭一種免許状（数学，情報）
物理学科 化学科 生物学科 地質科学科 自然環境科学科	中学校教諭一種免許状（理科） 高等学校教諭一種免許状（理科）

（卒業）

第9条 本学部に通算4年以上在学し、かつ、第4条第1項に規定する所定の単位を修得した学生の卒業の認定は、教授会の議を経て、学部長が行う。

（編入学及び再入学）

第10条 学則第62条第1項及び第2項並びに第63条の規定による編入学又は再入学を志願する者に対する選考については、別に定める。

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した単位の取扱い及び在学期間の通算の認定については、教授会が行う。

（転部及び転入学）

第11条 学則第64条の規定による転部又は転入学を志願する者に対する選考については、別に定める。

2 前項の規定により転部又は転入学を許可された者の既に修得した単位の取扱い及び在学期間の通算の認定については、教授会が行う。

（転科）

第12条 本学部の学生で他の学科に転科を願い出る者に対する選考については、別に定める。

（雑則）

第13条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、教授会が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

2 平成16年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。ただし、現に在籍する学生が別表第2の3自然科学（1）各学科共通の表に規定する授業科目中、「科学・技術と社会」を、現に数学科に在籍する学生が別表第2の3自然科学（2）数学科の表に規定する授業科目中「数学英語」、「基礎ゼミⅠ」、「基礎ゼミⅡ」、「基礎ゼミⅢ」、「基礎ゼミⅣ」、「基礎ゼミⅤ」、「基礎ゼミⅥ」、「基礎ゼミⅦ」及び「基礎ゼミⅧ」を、現に地質科学科に在籍する学生が別表第2の3自然科学（6）地質科学科の表に規定する授業科目中「地質構造解析法」、「鉱物結晶学実験」、「地球化学分析法」、「水質化学分析法」、「海洋生物学実験」、「古無脊椎動物学実験」及び「応用地質学実習」を履修し、卒業に必要な単位とすることができる。

3 平成16年度以前に入学した学生の再試験の取扱いについては、第7条の規定を適用する。

附 則

1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。

2 平成17年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

2 平成18年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。

2 平成19年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。ただし、施行の日に現に自然環境科学科に在籍する学生は、別表第2に規定する授業科目のうち「海洋学」を履修し、卒業に必要な単位とすることができる。

附 則

1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。

2 平成20年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。

2 平成21年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この規程は，平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成22年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については，なお，従前の例による。ただし，施行の日に現に自然環境科学科に在籍する学生は，改正後の別表第2に規定する授業科目のうち「環境気象学」を履修し，卒業に必要な単位とすることができる。

別表第1 (第4条関係)

分類	科目区分	細区分	数学科			物理学科			化学科			生物学科			地質科学科			自然環境科学科		
			必修	選択 必修	計	必修	選択 必修	計	必修	選択 必修	計	必修	選択 必修	計	必修	選択 必修	計	必修	選択 必修	計
教養教育に関する授業科目	英語	英語	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2		2	
	初修外国語	外国語ベータシク																		
		ドイツ語																		
		フランス語																		
		ロシア語																		
		中国語	2	4	8	2	4	8	2	4	8	2	4	8	2	4	8	2	4	8
		朝鮮語																		
		スペイン語																		
	イタリヤ語																			
	外国語スペシヤル																			
	健康・スポーツ		1		1															
	情報リテラシー		2		2															
	新潟大学 個性化科目	地域入門																		
		地域研究																		
人文社会・ 教育科学	自由主題																			
	人文科学		6	17		8	17		8	17		8	17		4	17		12	17	
	教育人間科学		8																	
自然科学	法学																			
	経済学																			
医学	理学																			
	工学																			
	農学																			
	医学																			
専門教育に関する授業科目	大学学習法	小計		25	25		25	25		25	25		25	25		25	25		25	
		必修	2		2	2		2	2	2		2	2	2		2	2	2		2
	自然系共通 専門基礎	物理学																		
		化学		16	16	4	12	16	4	16	16		8	16		8	16		8	16
		生物学																		
		地学																		
	自然科学	必修	30	2	64	46	12	6	64	42	4	18	64	12	40 又は 16	53	11	24	60	
		選択 必修																		
	小計		82	82		82	82		82	82		82	82		82	82		82	82	
	自由選択科目 (上記科目区分の中からいずれでもよい)			17	17		17	17		17	17		17	17		17	17		17	
合計		124	124		124	124		124	124		124	124		124	124		124	124		

注) 1. 教養教育に関する授業科目の科目区分「自然科学」のうち、細区分「理学」に属する科目は、別表第2の3自然科学の所属学科に記載の科目を除く。

2. 専門教育に関する授業科目の科目区分「自然科学」細区分「理学」における科目は、別表第2の3自然科学(1)各学科共通科目及び(2)~(7)の所属する学科の科目から履修するものとする。

別表第2 (第4条関係)

専門科目及び単位数

1 大学学習法

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修 科目	スタディ・スキルズ (数学学習法)	2	必修 科目	生命科学への招待 (生物学学習法)	2
	現代物理学への招待 (物理学学習法)	2		スタディ・スキルズ (地質科学学習法)	2
	スタディ・スキルズ (化学学習法)	2		環境科学スタディ・スキルズ	2

備考： 所属学科の科目1科目2単位必修。

2 自然系共通専門基礎

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修 又は 選択 科目	数 学 基 礎 A	2	必修 又は 選択 科目	化 学 基 礎 A	2
	数 学 基 礎 B	2		化 学 基 礎 B	2
	統 計 学 基 礎	2		化 学 基 礎 C	2
	物 理 学 入 門	2		生 物 学 基 礎 A	2
	物 理 学 基 礎 A I	2		生 物 学 基 礎 B	2
	物 理 学 基 礎 A II	2		地 学 基 礎 A	2
	物 理 学 基 礎 B I	2		地 学 基 礎 B	2
	物 理 学 基 礎 B II	2		地 学 基 礎 C	2
	物 理 学 基 礎 C I	2			
	物 理 学 基 礎 C II	2			
	物 理 学 基 礎 D	2			

備考： 別表1で学科毎に規定された単位数を修得する。

3 自然科学

(1) 各学科共通

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
選 択 必 修 科 目 又 は	科 学 史	2	選 択 必 修 科 目 又 は	インターンシップ特別実習a	1
	新 素 材 の 物 性	2		インターンシップ特別実習b	2
	科 学 ・ 技 術 と 社 会	2		グリーンケミストリー概説	1
	安 全 教 育	1			

備考： 自然環境科学科において選択必修として履修できる科目は、「科学史」及び「科学・技術と社会」とする。

(2) 数学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	微分積分学 I	2	選択科目	実解析学	4
	微分積分学 II	2		複素解析学 I	2
	微分積分学 III	4		複素解析学 II	2
	線形代数 I	2		関数解析学	2
	線形代数 II	2		代数系 I	2
	線形代数 III	4		代数系 II	2
	数学講究	8		幾何学 I	4
	基礎数学演習 I	2		幾何学 II	2
	基礎数学演習 II	2		トポロジ	2
集合と位相入門	2	確率論		2	
選択必修科目	数理解析特別講義 I	2		情報管理学	2
	数理解析特別講義 II	2		情報統計学	2
	構造数理特別講義 I	2		情報産業論	2
	構造数理特別講義 II	2		情報社会論	2
	情報数理特別講義 I	2		計算システム実習	1
	情報数理特別講義 II	2	デジタル表現論	2	
選択科目	計算機概論	2	デジタル表現実習	1	
	計算機概論実習	1	ネットワーク実習	1	
	代数入門	4	知能システム論	2	
	微分方程式論	2	基礎ゼミ I	2	
	位相空間論	2	基礎ゼミ II	2	
	情報基礎数学 I	2	基礎ゼミ III	2	
	情報基礎数学 II	2	基礎ゼミ IV	2	
	プログラミング概論	2	基礎ゼミ V	2	
	プログラミング演習	2	基礎ゼミ VI	2	
	計算システム	2	基礎ゼミ VII	2	
	グラフとネットワーク理論	2	基礎ゼミ VIII	2	
	情報計画システム I	2	数値解析	2	
情報計画システム II	2	数学英語	2		

(3) 物理学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	基礎物理学演習 I	2	選択科目	現代物理学	2
	基礎物理学演習 II	2		物理学基礎ゼミ	2
	初等物理学実験	2		電気力学	2
	基礎ベクトル解析	2		流体物理学	2
	解析力学	2		エレクトロニクス	2
	電磁気学 a	2		計測学	2
	電磁気学 b	2		計算物理学	2
	熱力学	2		特殊相対論	2
	物理学数学 I	2		一般相対論	2
	物理学数学 II	2		量子力学 III	2
	物理学数学 III	2		統計力学 III	2
	量子力学 I	2		原子核物理学 I	2
	量子力学 II	2		原子核物理学 II	2
	統計力学 I	2		物性物理学 I	2
	統計力学 II	2		物性物理学 II	2
	物理学実験 a	4		原子分子論	2
	物理学実験 b	4		素粒子物理学 I	2
	課題研究 a	4		素粒子物理学 II	2
課題研究 b	4	宇宙物理学	2		
選択必修科目	物理学演習	2	天文学特論	1	
	電磁気学演習	2	生物物理学特論	1	
	物理学数学演習 I	2	原子核理論特論	1	
	物理学数学演習 II	2	原子核物理学特論	1	
	量子力学演習 I	2	素粒子論特論	1	
	量子力学演習 II	2	素粒子物理学特論	1	
	統計力学演習 I	2	物性理論特論	1	
	統計力学演習 II	2	物性物理学特論	1	
	計算物理学演習	2	プラズマ物理学特論	1	
	宇宙物理学特論	1			
科選択目	振動・波動	2			
	量子力学序論	2			

(4) 化学科

区分	科 目	单 位	区分	科 目	单 位
必修科目	分析化学 I	2	選択科目	分析化学 II	2
	無機化学 I	2		錯体化学	2
	無機化学 II	2		無機化学 III	2
	有機化学 I	2		放射化学	2
	有機化学 II	2		有機化学 III	2
	化学熱力学	2		構造有機化学	2
	化学統計力学	2		反応有機化学	2
	量子化学 I	2		量子化学 II	2
	生体分子化学 I	2		化学反応論	2
	化学実験 I	2		分子分光化学	2
	化学実験 II	2		固体化学	2
	分析化学実験	2		凝縮系化学	2
	無機化学実験	2		生体分子化学 II	2
	有機化学実験	2		生体分子化学 III	2
	物理化学実験	2		基礎機器分析	2
	生化学実験	2		有機機器分析	2
課題研究	10	化学英語	2		
選択必修科目	分析化学演習	4	化学コ口キユウ△	1	
	無機化学演習	4	分析化学特論	1	
	有機化学演習	4	無機化学特論	1	
	物理化学演習	4	有機化学特論	1	
	量子化学演習	4	生化学特論	1	
	生化学演習	4			
	凝縮系化学演習	4			

(5) 生物学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	基礎植物学	2	選 択 科 目	遺 伝 学	2
	基礎生物化学	2		系 統 動 物 学	2
	基礎細胞生物学	2		発 生 生 物 学 I	2
	基礎細胞遺伝学	2		発 生 生 物 学 II	2
	基礎生物学実習 I	2		植 物 生 理 学 I	2
	基礎生物学実習 II	2		植 物 生 理 学 II	2
選択必修科目	課 題 研 究 I	8		植 物 生 理 学 III	2
	課 題 研 究 II	4		原 書 講 読	2
	分子生物学実習	2		生物学基礎演習	2
	生物化学実習	2		分子生物学演習	4
	動物生理学実習	2		細胞生物学演習	4
	植物分子生理学実習	2		発生生物学演習	4
	植物形態発生学実習	2		植物生理学演習	4
	動物形態発生学実習	2		免疫生物学演習	4
	臨 海 実 習 I	2		内 分 泌 学 演 習	4
	単位互換協定に基づき修得した他大学開設の臨海実習関係科目	当該科目について定められている単位数(2単位まで)		生 物 化 学 演 習	4
選 択 科 目	分 子 生 物 学	2		生 物 学 特 論 I	1
	生命科学のための基礎化学	2		生 物 学 特 論 II	1
	生 物 化 学 I	2		生 物 学 特 論 III	1
	生 物 化 学 II	2		生 物 学 特 論 IV	1
	細 胞 生 物 学 I	2		生 物 学 特 論 V	1
	細 胞 生 物 学 II	2		生 物 学 特 論 VI	1
	生 体 情 報 学	2		適 応 生 物 学	2
	動 物 生 理 学 I	2		多 様 性 生 物 学 A	2
	動 物 生 理 学 II	2	機 能 形 態 学 A	2	
	動 物 生 理 学 III	2	進 化 生 物 学	2	
		環 境 生 物 学 野 外 実 習 A	1		

- 備考：1. 選択必修科目の課題研究については課題研究 I 又は課題研究 II のいずれか 1 科目を履修し修得すること。この場合において、課題研究 II を履修することができる者は、理学部長が別に定める。
2. 選択必修科目の実習科目については 8 単位以上を修得すること。

(6) 地質科学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必 修 科 目	地質調査法基礎 I	1	選 択 科 目	古生物学 B	2
	地質調査法基礎 II	1		地層学 B	2
	地質調査法 I	2		環境地質学 A	2
	地質調査法 II	2		環境地質学 B	2
	地質調査法実習 I	1		鉱物学 B	2
	地質調査法実習 II	1		地球物理学	2
	古生物学 A	2		土木地質学	1
	地層学 A	2		石油地質学	1
	地史学原理	2		地球科学特別講義 I	1
	地史学 A	2		地球科学特別講義 II	1
	地史学 B	2		地球科学特別講義 III	1
	テクトニクス	2		地球科学特別講義 IV	1
	構造地質学	2		資源・環境地質学	2
	岩石学 A	2		地球化学分析法	1
	岩石学 B	2		水質化学分析法	1
	岩石学実験 I	1		地質構造解析法	1
	岩石学実験 II	1		第四紀環境学	2
	鉱物学 A	2		日本とアジアの地質	2
	鉱物結晶学実験	1		海洋地質学	2
	コミュニケーション実習	1		固体地球化学	2
地学英語	1	環境地質学実習	1		
セミナー	2	応用地質学実習	1		
野外実習基礎	1	海洋生物学実験	1		
野外実習 I	1	古無脊椎動物学実験	1		
野外実習 II	2				
野外実習 III	4				
課題研究	10				

(7) 自然環境科学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	自然環境科学概論 A	2	選 択 科 目	進 化 生 物 学	2
	自然環境科学概論 B	2		適 応 生 物 学	2
	自然環境科学概論 C	2		環 境 分 析 化 学	2
	基礎地学実験	2		物 質 反 応 化 学	2
	基礎物理学実験	2		物 質 科 学 A	2
	基礎生物学実験	2		物 質 科 学 B	2
	基礎化学実験	2		基礎量子力学	2
課 題 研 究	10	地 球 流 体 力 学		2	
選択必修科目	環境経済システム論 I	2		地 球 環 境 化 学	2
	環 境 政 策 論	2		エ ネ ル ギ ー 物 質 科 学	2
	自然環境科学実験 A	4		環 境 汚 染 論	2
	自然環境科学実験 B	4		自 然 科 学 実 験 法	2
	自然環境科学実験 C	4		古 環 境 学	2
選 択 科 目	地 圏 環 境 変 動 論	2		環 境 気 象 学	2
	地 形 学	2		自 然 環 境 科 学 特 論 A	1
	気 候 シ ス テ ム 論	2		自 然 環 境 科 学 特 論 B	1
	高 層 大 気 科 学	2		自 然 環 境 科 学 特 論 C	1
	地 形 情 報 科 学	2		自 然 環 境 科 学 特 論 D	1
	生 態 学	2		基礎数理演習 I	2
	機能形態学 A	2		基礎数理演習 II	2
	機能形態学 B	2		環 境 生 物 学 演 習	2
	多 様 性 生 物 学 A	2	環 境 地 質 学 野 外 実 習	1	
	多 様 性 生 物 学 B	2	環 境 生 物 学 野 外 実 習 A	1	
	多 様 性 生 物 学 C	2	環 境 生 物 学 野 外 実 習 B	1	
	保 全 生 物 学	2	環 境 生 物 学 野 外 実 習 C	1	

3. 新潟大学における授業科目の区分等に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、新潟大学学則（平成16年学則第1号）第48条の規定に基づき、新潟大学（以下「本学」という。）の学士課程教育における授業科目の区分、履修方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(授業科目の区分)

第2条 本学の授業科目は、別表のとおり区分する。

2 各年度において開設する授業科目は、全学教育機構（以下「機構」という。）が公示する授業科目開設一覧の定めるところによる。

3 授業科目には、学生の体系的な履修に資するため、学問分野及び水準を示すコードを付すものとする。

4 前項のコードは、機構において定めるものとする。

(授業科目の開講方式等)

第3条 授業科目は、原則として半年学期制により開講する。

(授業科目の履修)

第4条 学生は、所属する学部が定める教育課程に基づき、機構が公示する授業科目を履修するものとする。

(授業科目の聴講の受付及び承認)

第5条 授業科目の聴講の受付及び承認は、その授業科目の担当教員が行う。

2 前項の聴講の受付及び承認は、各学期の授業開始後3週間以内に行うものとする。

(授業科目の修了の認定)

第6条 授業科目の修了の認定は、その授業科目の担当教員が行う。

2 授業科目の試験等において、不正行為を行った学生に対しては、その者が所属する学部の教授会の議を経て、学部長が必要な措置を講じるものとする。

(授業科目の評価)

第7条 授業科目の評価は、100点満点をもって評価し、60点以上の成績を得た学生を合格、59点以下の成績を得た学生を不合格とする。

2 前項の成績の評語は、90点以上の成績を「秀」、89点から80点までの成績を「優」、79点から70点までの成績を「良」、69点から60点までの成績を「可」及び59点以下の成績を「不可」とする。

3 前項の規定にかかわらず、授業科目の成績において点数をもって評価できない場合は、「認定」又は「合格」の評語をもって評価することができる。

(授業科目の追試験)

第8条 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができない学生については、別に定めるところにより、追試験を行うことができる。

(授業科目の再試験)

第9条 授業科目の評価が不合格となった学生で、卒業又は進級できないものがある場合は、別に定めるところにより、再試験を行うことができる。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、授業科目の区分、履修方法等に関し必要な事項は、機構又は各学部が定める。

附 則

1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。

2 新潟大学全学共通科目の履修の基準に関する規則（平成16年規則第32号）は、廃止する。

3 平成16年度以前に入学し、現に在学している学生がこの規則により授業科目を履修した場合の全学共通科目又は教養科目（廃止前の新潟大学全学共通科目の履修の基準に関する規則に基づく全学共通科目又は教養科目をいう。）への読替えについては、機構において公示する。

授 業 科 目 区 分 表

科目区分	細区分
英語	英語
初修外国語	外国語ベーシック ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 朝鮮語 スペイン語 イタリア語 外国語スペシャル その他
健康・スポーツ	体育実技 体育講義
情報リテラシー	情報リテラシー 情報処理概論
新潟大学個性化科目	地域入門 地域研究 自由主題
留学生基本科目	日本語 日本事情
大学学習法	大学学習法
自然系共通専門基礎	数学・統計学 物理学 化学 生物学 地学
自然科学	理学 工学 農学
人文社会・教育科学	人文科学 教育人間科学 法学 経済学
医歯学	医学 歯学

4. 履修の心得

理学部では、多様化する学生に対応して教育と研究の充実を図っています。専門教育についての基本的考え方、視点として次の2点が挙げられます。

- ・学生の多様化に応えるための、4年一貫教育による体系的・段階的な学習。
- ・社会の要請に応える、幅広い学際的人材育成のための、各専門間の境界領域教育の充実。

理学部規程は、入学年度の規程が卒業するまで適用されますので、自分の適用規程を確認するときは入学年度の「履修の手引」を参照してください。

I 教養教育に関する授業科目

本学部の教育課程は、「教養教育に関する授業科目」及び「専門教育に関する授業科目」により編成されています。「教養教育に関する授業科目」はその内容等に応じ、英語、初修外国語、健康・スポーツ、情報リテラシー、新潟大学個性化科目、人文社会・教育科学、自然科学及び医歯学に区分されており、幅広い教養を身に付けるための授業科目です。

履修にあたっては、各学科のガイダンスに従ってください。

II 専門教育に関する授業科目

「専門教育に関する授業科目」には、大学学習法、自然系共通専門基礎、自然科学（理学）に区分された科目があります。それぞれの区分について、必修科目、選択必修科目及び選択科目があり、各学科が指定した単位を修得しなければなりません。

各学科の授業科目及び単位数は、理学部規程別表第2及び講義概要の各年度入学者向け開講科目表を参照してください。

○ 大学学習法

大学教育への導入科目です。

○ 自然系共通専門基礎

自然科学系学部の学生が専門を学ぶ上で基礎となる授業科目です。

○ 各学科共通科目（総合科目）

一定の個別の専門知識を学んだ学生に対して、科学の持つ多面的な側面から自分の専門を見直し、かつ、総合的判断力を身に付けるための科目です。学科の枠をこえて全学科の協力を得て設けられています。所属学科の科目に偏らず広く履修することが望まれます。

III 理学部規程別表第1（第4条関係）及び別表第2の履修方法

【教養教育に関する授業科目】 25単位を修得してください。

「英語」、「初修外国語」、「健康・スポーツ」、「情報リテラシー」、「新潟大学個性化科目」、「人文社会・教育科学」及び「医歯学」区分の科目は、「新潟大学授業科目開設一覧」の科目の中から、別表第1の区分毎に規定の単位数を修得してください。

「自然科学」区分の科目は、所属学科の専門教育に関する授業科目（理学部規程別表第2）以外の科目から選択して修得してください。

【専門教育に関する授業科目】 82単位を修得してください。

理学部規程別表第2から以下に留意して修得してください。

1. 大学学習法 2単位必修

所属学科が指定する科目を修得してください。

2. 自然系共通専門基礎

別表第1で所属学科が各細区分毎に規定する単位数を修得してください。

主聴講学部・学科が指定されている科目がありますので、履修に際しては注意してください。

3. 自然科学（理学）

別表第1で各学科が規定する科目・単位数を別表第2を参照の上、修得してください。

【自由選択科目】

17単位を「教養教育に関する授業科目」及び「専門教育に関する授業科目」から選択して修得し

てください。

○ 専門教育に関する授業科目の学科別留意事項

〔物理学科〕

自然系共通専門基礎科目

物理学基礎A I 及び物理学基礎A IIが必修です。

なお、物理学基礎B I, B II, C I, C II及び物理学入門の単位を修得しても、卒業要件単位とはなりません。

〔地質科学科〕

自然系共通専門基礎科目

「数学・統計学」の選択必修科目は、数学基礎A, 数学基礎B又は統計学基礎から2単位の修得が必要です。

コースへの所属

「地質学専修コース」と「地質エンジニアリングコース」があり、3年次進級時にコース分けを行います。したがって、本学科の3年次以上の学生は、必ずどちらかのコースに所属することになります。それぞれのコースの内容、履修科目等については、別途配付する「地質科学科 教育プログラムの案内」で確認して下さい。

〔自然環境科学科〕

自然系共通専門基礎科目

細区分毎の必修科目は、数学基礎A, 物理学基礎D, 化学基礎A, 化学基礎B, 生物学基礎A, 生物学基礎B, 地学基礎Aの7科目(14単位)です。

また、「数学」の選択必修科目は、数学基礎Bまたは統計学基礎から1科目(2単位), 「物理学」の選択必修科目は、物理学基礎A Iまたは物理学基礎B Iから1科目(2単位), 「地学」の選択必修科目は、地学基礎Bまたは地学基礎Cから1科目(2単位)の修得が必要です。

○ 自由選択科目についての学科別留意事項

他学科及び他学部等の授業科目を履修することもできますが、以下のような履修にあたっての留意事項があります。

〔物理学科〕

履修が許可された段階で学科として認めるかどうかを決めます。

【注意】

1. 「教職に関する科目」は卒業要件単位(124単位)とはなりません。ただし、数学科では「数学科教育法I」, 「数学科教育法II」, 「数学科教育法III」, 「数学科教育法IV」, 「情報科教育法I」及び「情報科教育法II」を、卒業要件単位(専門教育に関する授業科目)に含めることができます。
2. 教育職員免許状取得のための実験科目の単位は、卒業要件単位に含みません。
3. 学芸員資格取得のための科目は、卒業要件単位に含みません。
4. 副専攻入門科目及び国際センター開設科目は、卒業要件単位に含みません。

IV アドバイザー制度

理学部では、アドバイザー制度を導入し、きめ細かい履修指導を行っています。授業の履修方法などで分からないことがあれば、各学科・学年ごとのアドバイザーの先生方に相談できます。

V 履修申請

原則として「学務情報システム」(Webブラウザ)から行います。

ただし、集中講義等で「聴講票」により履修申請を行う科目がありますので、その都度通知します。

VI 履修確認

原則として「学務情報システム」(Webブラウザ)から行います。学期ごとに履修科目確認期間があります。後日思わぬ不利益を被ることのないように、必ず確認してください。

確認期間については、学務情報システム画面若しくは掲示板で確認してください。

VII 進級

各年次へ進級できる要件は、各学科で個別に定めています。

VIII 試験時における注意事項

受験に当たっては、不正行為のないよう厳正な態度で臨んでください。

不正行為を行った学生に対しては、当該科目の受験を無効とするほか、当該年度の全科目の単位不認定、若しくは本学学則第73条による懲戒、又はそれらを併せた処置を行うことがあります。

IX 成績とGPA

履修登録した授業科目の成績は、その科目毎に下記の評価基準に基づいた点数で評価します。

また、併せて履修登録した全授業科目について、1単位当たりの成績の平均値（GPA）を算出します。GPAは学期毎に算出し、入学後の全ての学期において履修登録した授業科目について、累積GPAを算出します。

累積GPAと全履修単位数は、学生の勉学に関する“質の高さ”と“意欲の旺盛さ”を端的に表していると見ることができます。

GPAは大学が責任をもって学生に教育を行い、社会に送り出すために、最低限の質の保証として導入されたもので、授業の履修については「厳格な成績評価及び修了認定」をするため、学生の皆さんには自己責任や自己管理についての注意が求められます。

【注意】

取消手続きを行わなかった授業科目、試験を受けなかった授業科目があると、累積GPAが下がることとなります。

○成績評価基準

100～90点(秀)	授業科目の目標を超えている。
89～80点(優)	授業科目の目標に十分達している。
79～70点(良)	授業科目の目標から考えると一定の水準に達している。
69～60点(可)	授業科目の目標から考えると最低限を満たしている。
59点以下(不可)	授業科目の目標に達していない。

○GPA計算

100点満点で評価された各授業科目のグレード・ポイント（GP）は、次の計算式で算出されます。

$$GP = \frac{\text{評価} - 50}{10}$$

ただし、59点以下の場合は0となります。

GPAは、次の計算式で算出されます。

$$GPA = \frac{\{\text{履修登録した各授業科目の単位数} \times GP\} \text{の総和}}{\text{履修登録した各授業科目の単位数の総和}}$$

累積GPAは、次の計算式で算出されます。

$$\text{累積GPA} = \frac{\{\text{入学時以降に評価を得た各授業科目の単位数} \times GP\} \text{の総和}}{\text{入学時以降に履修登録した各授業科目の単位数の総和}}$$

<例> 85点の場合、 $GP = (85-50)/10 = 3.5$ となります。

X 席次

各学科における学年毎の席次は、取得単位数及び累積GPA等により総合的に決定するものとし、その基準は、学科毎に定めています。

XI 重複履修について

単位を修得した授業科目の成績に不満がある場合、同一科目を再度履修することができます（再履修）。

ただし、重複して単位を取得しても、卒業要件単位には1科目分の単位しか認められません。

また、GPAの算出にあたっては、GP値の高いものが計算対象となります。

※ 再履修できない科目（実験・実習科目他）もありますので、履修申請の際には注意してください。

XII 保護者への成績通知

本学部では、学生の学修成績を保護者に通知しています。

送付に際し、特殊事情や送付先の変更を希望する等の場合は、各学科学務委員に申し出てください。

XIII 身上異動

改氏名、保護者の変更、保護者の住所変更等の身上異動があった場合は、速やかに理学部長に届け出なければなりません。届出用紙は、理学部学務係にあります。

XIV 学生連絡先

緊急に連絡を要する場合、大学から連絡先（住所）へ電話等を行うことがあります。

入学時に連絡先届を提出するとともに「学務情報システム」にも現住所および電話番号を必ず登録してください。連絡先に変更があった場合は、理学部学務係に届け出るとともに登録内容の更新を行ってください。

※届出がない場合には、不利益を被ることがあります。

XV その他

1 転部・転科

転部・転科を希望する場合は、所属学科長及び所属学科学務委員に申し出てください。

各申請用紙は、理学部学務係にあります。

（理学部への転部及び転科志願書類の受付期間は12月1日から12月10日（平日のみ）です。）

2 休学・退学

保護者と相談の上、所属学科学務委員に申し出てください。

各申請用紙は、理学部学務係にあります。

3 長期欠席

病気等で欠席しなければならない期間が2週間を超える場合は、長期欠席届を提出してください。

届出用紙は、理学部学務係にあります。

4 掲示板

学生への連絡事項は、すべて掲示により周知しますので、1日1回は学務係掲示板及び所属学科掲示板を見てください。

掲示を見なかったことによる不利益は自分で被らなければなりません。

5. 教育職員免許状の取得について

理学部において取得することができる免許状の種類及び免許教科は、次のとおりです。

区分	免許状の種類	免許教科
理学部	中学校教諭一種免許状	数学, 理科
	高等学校教諭一種免許状	数学, 情報 理科

※新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程に進学すると、専修免許状の取得が可能です。

教育職員免許状取得に必要な資格

免許状の種類	所用資格	基礎資格	大学において修得することを必要とする科目の最低修得単位数		
			教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること		20	31	8
高等学校教諭一種免許状			20	23	16

免許状取得には、「教科に関する科目」, 「教職に関する科目」の他に「一般教育科目」(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)の単位の修得が必要です。

中学校教諭免許状取得には、更に「介護等の体験」が必要です。

一般教育科目(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目)

科目	単位数	開設授業科目	単位数		履修方法
			必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法A 日本国憲法B 日本国憲法C 日本国憲法D		2 2 2 2	※左記授業科目のうちから いずれか2単位修得のこと
体育	2	健康スポーツ科学実習 I ○ 健康スポーツ科学講義		1 2	
外国語コミュニケーション	2	アカデミック英語(リーディング) アカデミック英語(リスニング) アカデミック英語(ライティング) 基礎英語 理工英語読解		1 1 1 1 1	※左記授業科目のうちから いずれか2単位修得のこと
情報機器の操作	2	情報リテラシー入門 情報処理概論A* 情報処理概論C* 情報機器操作入門 UNIXリテラシー演習		2 2 2 2 2	数学科 物理学科 化学科 生物学科 地質科学科 自然環境科学科 ※左記授業科目のうちから いずれか 2単位修得 のこと

○印：免許状取得上の必修科目を示す。

*印：情報処理概論Aについては、A IまたはA IIのどちらかを履修してください。
情報処理概論Cについては、開設されない年度があります。

教科に関する科目，教科又は教職に関する科目（免許法施行規則に定める科目）

	中学校一種免許状		高等学校一種免許状	
	教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	教科に関する科目	教科又は教職に関する科目
数学	代数学 幾何学 解析学 「確率論，統計学」 コンピュータ ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上 計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」 計8単位以上	代数学 幾何学 解析学 「確率論，統計学」 コンピュータ ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上 計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」 計16単位以上
情報			情報社会及び情報倫理（実習を含む。） コンピュータ及び情報処理（実習を含む。） 情報システム（実習を含む。） 情報通信ネットワーク（実習を含む。） マルチメディア表現及び技術（実習を含む。） 情報と職業 ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上 計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」 計16単位以上
理科	物理学 物理学実験（コンピュータ活用を含む） 化学 化学実験（コンピュータ活用を含む） 生物学 生物学実験（コンピュータ活用を含む） 地学 地学実験（コンピュータ活用を含む） ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上 計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」 計8単位以上	物理学 化学 生物学 地学 ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上 物理学実験（コンピュータ活用を含む） 化学実験（コンピュータ活用を含む） 生物学実験（コンピュータ活用を含む） 地学実験（コンピュータ活用を含む） ◎上記4実験科目のうちから1実験科目1単位以上 計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」 計16単位以上

教科に関する科目

数学科 (数学)

数学科 (情報)

免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選	免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選
代数学		情報社会及び情報倫理 (実習を含む)	
線形代数 I	2	情報社会論	2
基礎数学演習 II	2		
代数入門	4	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む)	
代数系 I	2	プログラミング概論	2
代数系 II	2	プログラミング演習	2
		知能システム論	2
幾何学		計算機概論	2
線形代数 II	2	計算機概論実習	1
線形代数 III	4	情報統計学	2
幾何学 I	4	計算物理学 (物理学科)	2
幾何学 II	2	計算物理学演習 (物理学科)	2
トポロジー	2		
解析学		情報システム (実習を含む)	
微分積分学 I	2	計算システム	2
微分積分学 II	2	計算システム実習	1
微分積分学 III	4	情報計画システム I	2
基礎数学演習 I	2	情報計画システム II	2
集合と位相入門	2		
位相空間論	2	情報通信ネットワーク (実習を含む)	
複素解析学 I	2	情報基礎数学 I	2
複素解析学 II	2	グラフとネットワーク理論	2
関数解析学	2	ネットワーク実習	1
確率論, 統計学		マルチメディア表現及び技術 (実習を含む)	
実解析学	4	情報基礎数学 II	2
確率論	2	デジタル表現論	2
統計学基礎	2	デジタル表現実習	1
コンピュータ		情報と職業	
微分方程式論	2	情報産業論	2
数値解析	2	情報管理学	2

物理学科 (理科)

化学科 (理科)

生物学科 (理科)

免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選	免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選	免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選
物理学		物理学		物理学	
物理学基礎 A I	2	物理学入門	2	物理学入門	2
物理学基礎 A II	2	物理学基礎 A I	2	物理学基礎 A I	2
物理学基礎 D	2	物理学基礎 A II	2	物理学基礎 A II	2
基礎ベクトル解析	2	物理学基礎 B I	2	物理学基礎 B I	2
解析力学	2	物理学基礎 B II	2	物理学基礎 B II	2
電磁気学 a	2	物理学基礎 D	2	物理学基礎 D	2
電磁気学 b	2				
熱力学	2	物理学実験 (コンピュータ活用含む)		物理学実験 (コンピュータ活用含む)	
物理数学 I	2	○ 物理化学実験	2	○ 物理学実験	1
物理数学 II	2				
物理数学 III	2	化学		化学	
物理数学演習 I	2	化学基礎 A	2	化学基礎 A	2
量子力学 I	2	化学基礎 B	2	化学基礎 B	2
量子力学 II	2	化学基礎 C	2	化学基礎 C	2
量子力学 III	2	分析化学 I	2	基礎生物化学	2
統計力学 I	2	分析化学 II	2	生命科学のための基礎化学	2
統計力学 II	2	無機化学 I	2	生物化学 I	2
統計力学 III	2	無機化学 II	2		
物理学演習	2	錯体化学	2	化学実験 (コンピュータ活用含む)	
物理数学演習 II	2	無機化学 III	2	○ 生物化学実習	2
電磁気学演習	2	放射化学	2		
振動・波動	2	有機化学 I	2	生物学	
電気力学	2	有機化学 II	2	生物学基礎 A	2
流体物理学	2	有機化学 III	2	生物学基礎 B	2
エレクトロニクス	2	構造有機化学	2	分子生物学	2
計測学	2	反応有機化学	2	生物化学 II	2
現代物理学	2	化学熱力学	2	細胞生物学 I	2
特殊相対論	2	化学統計力学	2	細胞生物学 II	2
一般相対論	2	量子化学 I	2	生体情報学	2
原子核物理学 I	2	量子化学 II	2	動物生理学 I	2
原子核物理学 II	2	化学反応論	2	動物生理学 II	2
物性物理学 I	2	分子分光法	2	動物生理学 III	2
物性物理学 II	2	固体化学	2	遺伝学	2
物理学基礎ゼミ	2	凝縮系化学	2	系統動物学	2
素粒子物理学 I	2	生体分子化学 III	2	発生生物学 I	2
素粒子物理学 II	2	有機機器分析	2	発生生物学 II	2
宇宙物理学	2	基礎機器分析	2	植物生理学 I	2
量子力学序論	2			植物生理学 II	2
基礎物理学演習 I	2	化学実験 (コンピュータ活用含む)		植物生理学 III	2
基礎物理学演習 II	2	化学実験 I	2	基礎細胞生物学	2
量子力学演習 I	2	化学実験 II	2	基礎細胞遺伝学	2
統計力学演習 I	2	無機化学実験	2	生物学基礎演習	2
量子力学演習 II	2	有機化学実験	2		
統計力学演習 II	2			生物学実験 (コンピュータ活用含む)	
物理学実験 (コンピュータ活用含む)		生物学		分子生物学実習	2
物理学実験 a	4	生物学基礎 A	2	動物生理学実習	2
物理学実験 b	4	生物学基礎 B	2	植物分子生理学実習	2
		生体分子化学 I	2	動物形態発生学実習	2
		生体分子化学 II	2	植物形態発生学実習	2
化学				基礎生物科学実習 I	2
化学基礎 A	2	生物学実験 (コンピュータ活用含む)		基礎生物科学実習 II	2
化学基礎 B	2	○ 生化学実験	2	臨海実習 I	2
化学基礎 C	2				
化学実験 (コンピュータ活用含む)		地学		地学	
○ 化学実験	1	地学基礎 A	2	地学基礎 A	2
		地学基礎 B	2	地学基礎 B	2
		地学基礎 C	2	地学基礎 C	2
生物学		地学実験 (コンピュータ活用含む)		地学実験 (コンピュータ活用含む)	
生物学基礎 A	2	○ 分析化学実験	2	○ 地学実験	1
生物学基礎 B	2				
生物学実験 (コンピュータ活用含む)					
○ 生物学実習	1				
地学					
地学基礎 A	2				
地学基礎 B	2				
地学基礎 C	2				
地学実験 (コンピュータ活用含む)					
○ 地学実験	1				

○ : 中学校免許必修

○ : 中学校免許必修

○ : 中学校免許必修

地質科学科 (理科)

自然環境科学科 (理科)

理科教員免状取得用実験科目

免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選	免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選
物理学		物理学	
物理学入門	2	物理学入門	2
物理学基礎A I	2	物理学基礎A I	2
物理学基礎A II	2	物理学基礎A II	2
物理学基礎B I	2	物理学基礎B I	2
物理学基礎B II	2	物理学基礎B II	2
物理学基礎D	2	物理学基礎D	2
物理学実験 (コンピュータ活用含む)		高層大気科学	2
鉱物結晶学実験	1	基礎量子力学	2
地質構造解析法	1	地球流体力学	2
化学		物質科学B	2
化学基礎A	2	基礎数理演習 I	2
化学基礎B	2	基礎数理演習 II	2
化学基礎C	2	物理学実験 (コンピュータ活用含む)	
化学実験 (コンピュータ活用含む)		基礎物理学実験	2
地球化学分析法	1	自然環境科学実験C	4
水質化学分析法	1	化学	
生物学		化学基礎A	2
生物学基礎A	2	化学基礎B	2
生物学基礎B	2	化学基礎C	2
古生物学A	2	環境分析化学	2
古生物学B	2	地球環境化学	2
生物学実験 (コンピュータ活用含む)		物質反応化学	2
海洋生物学実験	1	エネルギー物質科学	2
古無脊椎動物学実験	1	物質科学A	2
地学		化学実験 (コンピュータ活用含む)	
地学基礎A	2	基礎化学実験	2
地学基礎B	2	生物学	
地学基礎C	2	生物学基礎A	2
地質調査法基礎 I	1	生物学基礎B	2
地質調査法基礎 II	1	生態学	2
地質調査法 I	2	環境生物学演習	2
地質調査法 II	2	保全生物学	2
地質調査法実習 I	1	多様性生物学A	2
地質調査法実習 II	1	多様性生物学B	2
地層学A	2	多様性生物学C	2
地層学B	2	進化生物学	2
地史学A	2	機能形態学A	2
地史学B	2	機能形態学B	2
テクトニクス	2	適応生物学	2
構造地質学	2	生物学実験 (コンピュータ活用含む)	
岩石学A	2	基礎生物学実験	2
岩石学B	2	自然環境科学実験B	4
鉱物学A	2	環境生物学野外実習A	1
鉱物学B	2	環境生物学野外実習B	1
環境地質学A	2	環境生物学野外実習C	1
環境地質学B	2	地学	
資源・環境地質学	2	地学基礎A	2
第四紀環境学	2	地学基礎B	2
日本とアジアの地質	2	地学基礎C	2
海洋地質学	2	地形学	2
固体地球化学	2	地圏環境変動論	2
地学実験 (コンピュータ活用含む)		気候システム論	2
岩石学実験 I	1	地形情報科学	2
岩石学実験 II	1	環境気象学	2
野外実習基礎	1	地学実験 (コンピュータ活用含む)	
野外実習 I	1	基礎地学実験	2
野外実習 II	2	自然環境科学実験A	4
野外実習 III	4	環境地質学野外実習	1
環境地質学実習	1		

免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	備考
物理学実験 (コンピュータ活用含む)	
物理学実験	生物学科向け
化学実験 (コンピュータ活用含む)	
化学実験	物理学科向け
生物学実験 (コンピュータ活用含む)	
生物学実習	生物学科向け
地学実験 (コンピュータ活用含む)	
地学実験	物理学科向け 生物学科向け

※免許取得用実験科目の単位を修得しても、卒業要件単位にはなりません。

※上記実験科目は、理学部開設科目 (Sコード) から選択してください。Gコードで開設されている実験科目は、教員免許取得用ではありません。

教職に関する科目

	授業科目名	単位数		学年指定
		中一	高一	
教育の意義等に関する科目	教職入門	2	2	1年
教育の基礎理論に関する科目	教育学概論	2	2	2～4年
	教育心理学	2	2	1年
	教育の制度と経営	2	2	2～4年
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程総論	2	2	2～4年
	教科教育法 〔 数学科教育法Ⅰ～Ⅳ 情報科教育法Ⅰ～Ⅱ 理科教育法(中等)Ⅰ～Ⅳ 〕	8	4	掲示にて通知
	道徳指導法	2		2～4年
	教育方法・技術B	1	1	2年
生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	2	2・3年
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	2	2・3年
教育実習	中等教育実習	5	3	4年
教職実践演習	教職実践演習(中等)	2	2	4年
計		32	24	

教育実習

	中学校一種	高等学校一種	備考
単位数	5単位	3単位	
事前・事後指導	事前指導 13回 事後指導 2回		4月～5月予定 11月予定
実習期間	4週間 中学校実習 高等学校実習	2週間 高等学校実習	出身学校等
受講資格	4年次学生		
受講要件	3年次までに、以下の科目の単位を取得済みであること。 教職入門 教育心理学 教科教育法 生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ 生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ		
受講手続	3年次に、学生本人が実習校(出身学校等)へ依頼する		

◎実習教科と免許教科は同じことが原則となります。

◎教科教育法については、3年次までに1科目で単位を修得していれば、教育実習を受講できます。

なお、「理科教育法Ⅳ」は中学校免許取得希望者対象の講義です。高等学校免許(理科)のみ取得しようとする場合は、「理科教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」から2科目を選択して4単位としてください。

3年次4月にガイダンスを行いますので、教育職員免許状取得希望者は、必ず出席してください。

○介護等の体験

実施方法や体験施設等についてのガイダンスを2年次の秋(11月頃)に行います。

また、事前指導を3年次の春(4月頃)に行いますので、中学校教諭免許状取得希望者は必ず出席してください。

※ 教育職員免許状に関するガイダンス日程や、免許状取得について変更が生じた場合は、掲示にて通知します。

6. 学芸員の資格取得について

1 学芸員の職務

学芸員とは、博物館法に基づく博物館の専門職員であって、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究、その他これに関連する事業について専門的事項をつかさどる者をいいます。

2 学芸員の資格

学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得した者は、学芸員となる資格があります。

3 博物館に関する科目及び単位数

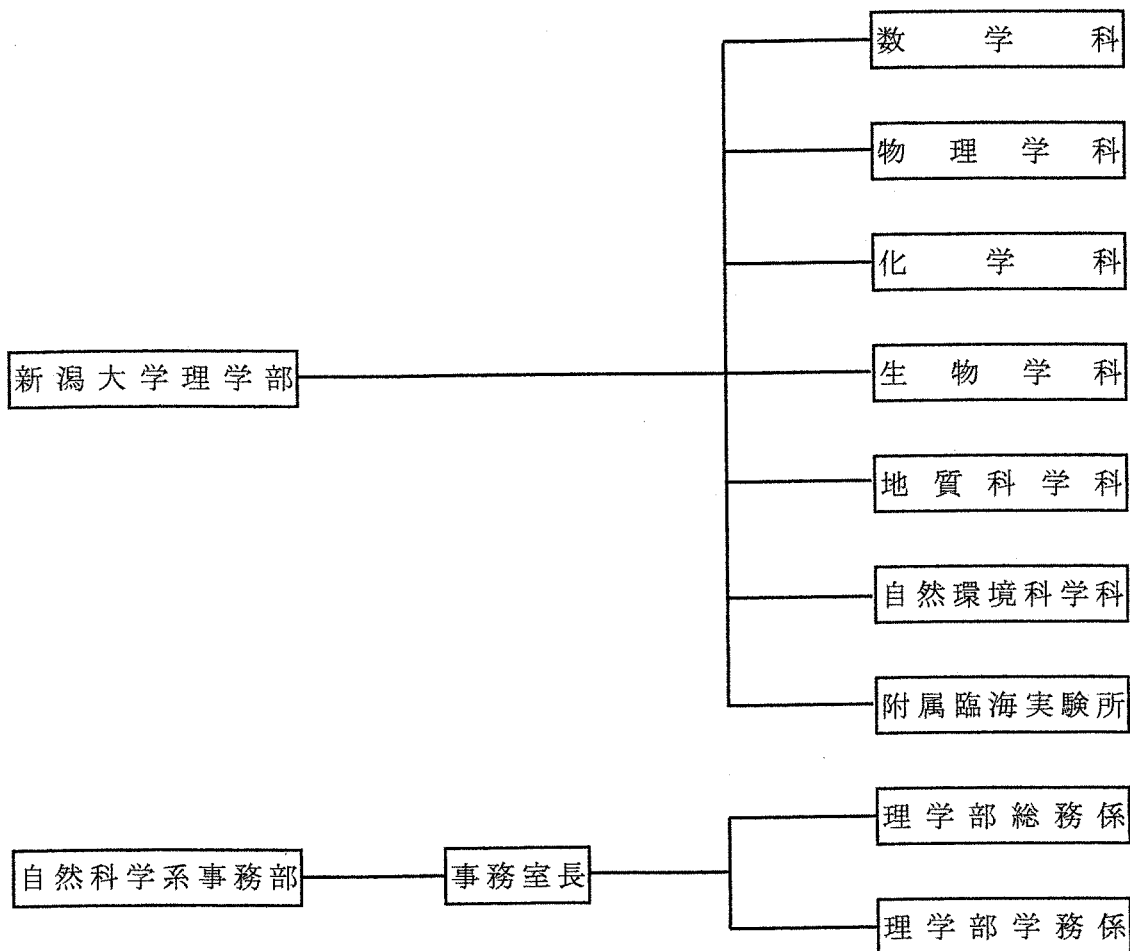
文部科学省令で定める大学において修得すべき博物館に関する科目の単位と、本学で開講される科目との関係は、次のとおりです。

文部科学省令の科目・単位数		左記に対応する 授業科目・単位数		履修 単位数	備考 (開設学部)
科目名	単位数	授業科目名	単位数		
博物館概論	2	博物館概論	2	2	人文学部
博物館経営論	1	博物館経営・情報論	2		人文学部
博物館情報論	1				
博物館資料論	2	博物館資料論	2		人文学部
教育学概論	1	教育学概論	2	2	教育学部
生涯学習概論	1	生涯学習概論Ⅰ	2	} 2	教育学部
		生涯学習概論Ⅱ	2		教育学部
		生涯学習概論Ⅲ	2		教育学部
視聴覚教育メディア論	1	教育メディア論	2	2	教育学部
博物館実習	3	博物館実習	3	3	人文学部
合計	12	合計		15	

備考

- ①上記必修科目のほかに、人文学部で開設されている次の授業科目を修得することが望ましい。
ミュージアム論、考古学概説A・B、民俗学概説A・B、古文書学概説A・B、
美術史概説A・B
- ②上記必修科目（博物館実習を除く6科目）は、博物館実習を4年次に履修することから、必ず3年次までに修得のこと。
- ③博物館概論は2年次で履修、博物館経営・情報論及び博物館資料論は3年次で履修すること。
- ④博物館実習についてのガイダンスを、3年次の10月頃及び12月上旬頃に行います（掲示にて通知）。学芸員資格取得希望者は必ず出席してください。

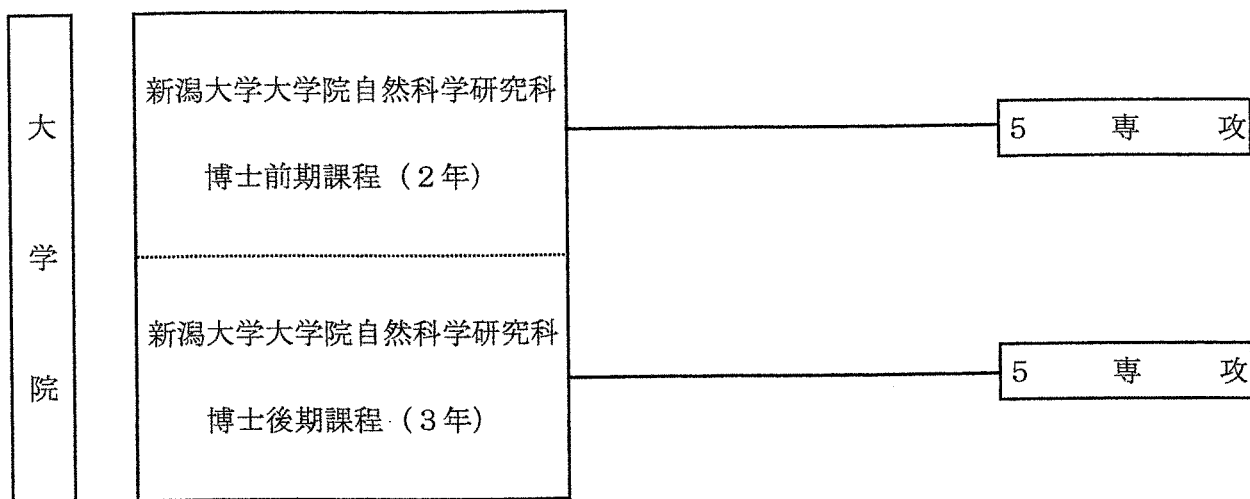
7. 理学部の組織



8. 大学院の組織

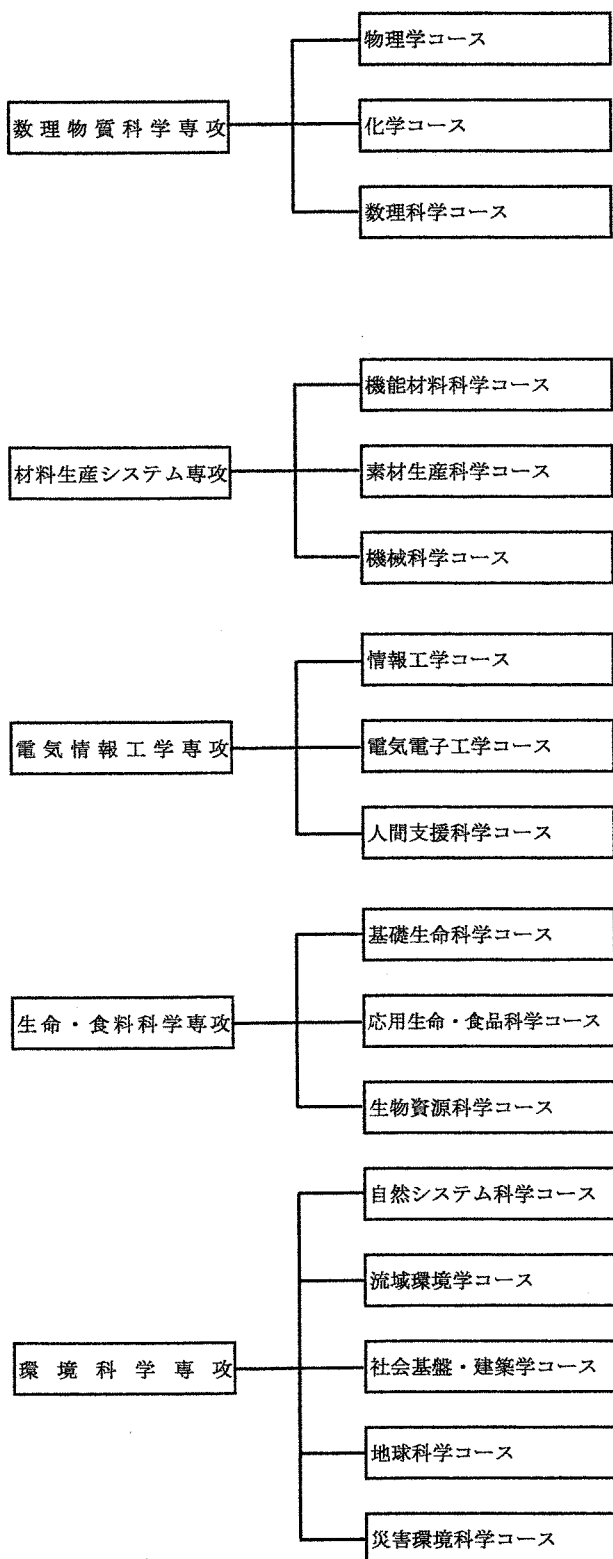
新潟大学では、平成7年度から従来の自然科学研究科博士後期課程の下に、大学院理学研究科、工学研究科及び農学研究科を統合して「自然科学研究科博士前期課程」を設置しました。

この改組により、新しい枠組みで教育研究分野を体系化し、自然科学系学問分野の総合化・学際化に依りながら各専攻に横断性を持たせると同時に、博士前期課程と博士後期課程における教育研究のより一層の連続性・継続性が図れるようになりました。

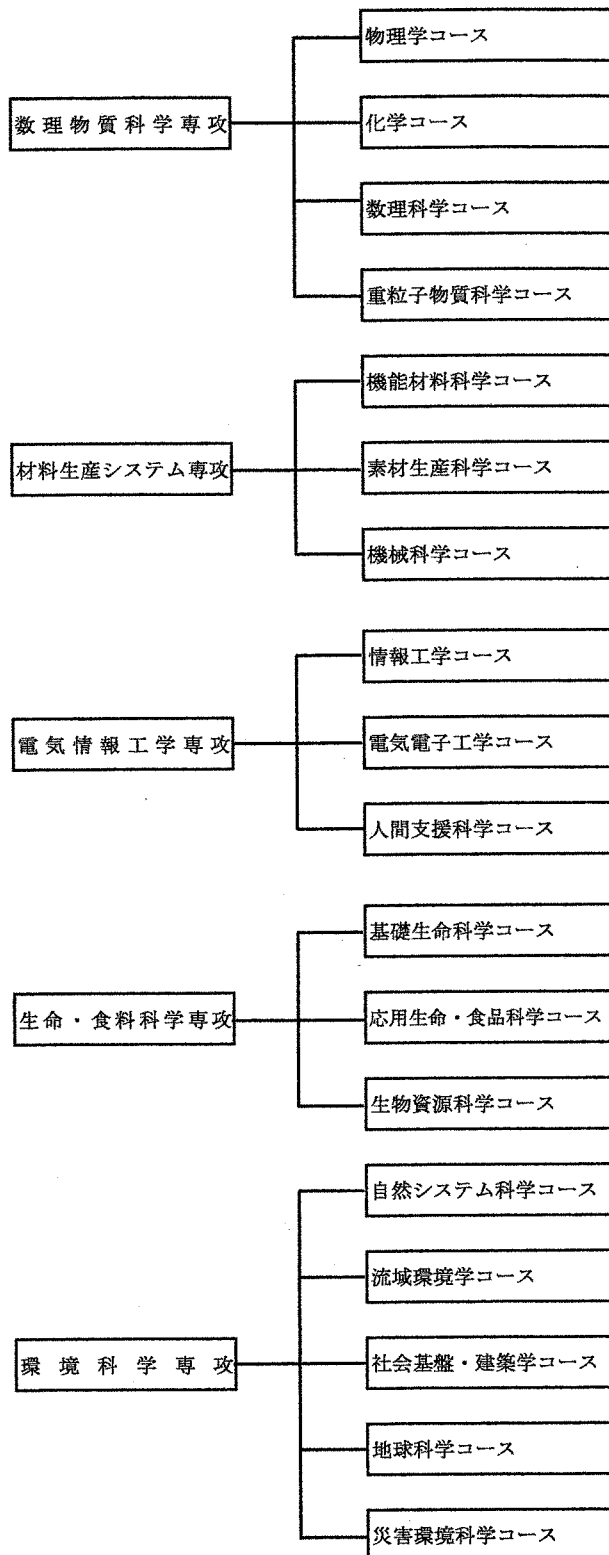


9. 自然科学研究科の構成

(1) 博士前期課程



(2) 博士後期課程



10. 教授会

新潟大学の全体組織については「学生便覧」等に示してありますが、その構成の一つとして本学部には「教授会」が置かれ、学部の管理、運営に関する事項等を審議し、方針を決定する機関となっています。

特に、学生諸君に直接関わりの深い問題については、次の委員会が扱います。

1 学務委員会

- 事項 ① カリキュラム、時間割、試験の実施
② 教育実習・教員職員免許の関係
③ 学生の身分異動の関係
④ 特別講義
⑤ 奨学生の推薦
⑥ 課外活動及び福利厚生
⑦ 自治会・学生相談
⑧ その他学務関係全般

2 就職・進路指導委員会

事項 就職及び進学等の進路指導に関する事項

3 判定委員会

事項 学生の入学及び卒業に関する事項

11. 事務

本学部の事務を処理するために自然科学研究科学務係と理学部学務係があります。

特に、学生生活を送る上で日常的に関わりの深い理学部学務係は、学務委員会等と密接な連携のもとに諸般の事務処理にあたっています。

理学部学務係の事務分掌

- (1) 教育課程の編成及び授業の実施に関すること。
- (2) 学生の募集及び入学試験に関すること。
- (3) 入学・卒業、その他学生の学籍に関すること。
- (4) 学生の修学等を支援するために必要な助言・指導、その他の援助に関すること。
- (5) 学位に関すること。
- (6) 学籍その他の記録に関すること。
- (7) 外国人留学生に関すること。
- (8) 教育実習及び教員職員免許に関すること。
- (9) 課外活動及び福利厚生に関すること。
- (10) 就職及び卒業後の進路に関すること。
- (11) 諸証明に関すること。
- (12) 所掌事務の調査及び統計に関すること。
- (13) その他学務関係事務に関すること。

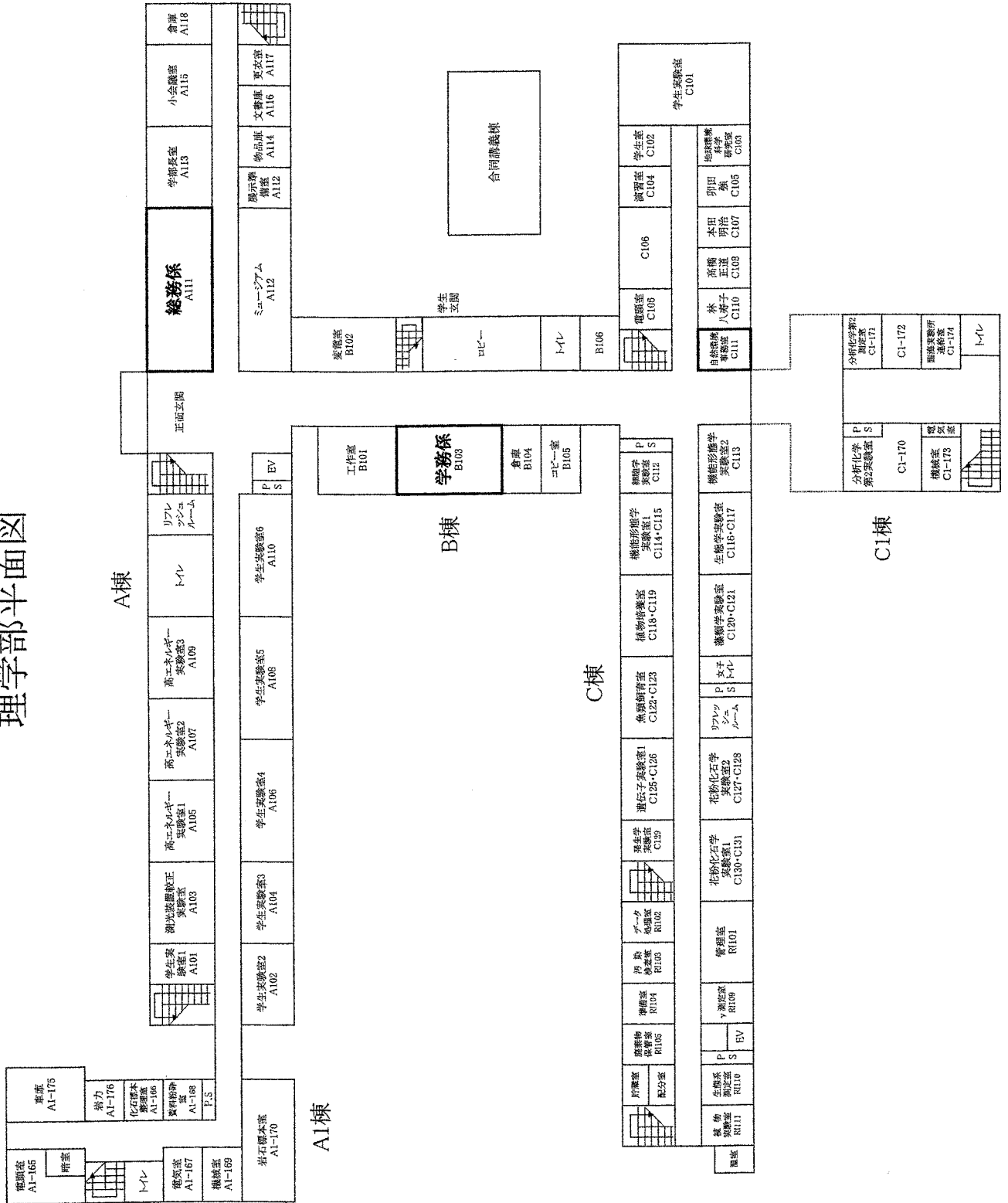
学業及び学生生活を送るうえで様々な問題が生じた時は、遠慮なく各学科の委員や担当係に積極的に相談されるよう希望します。

12. 理学部教職員一覽

講座等	氏名	カナ	職名	研究室	講座等	氏名	カナ	職名	研究室				
数学科	数理解析学講座	泉池 敬司	イズチケイジ	教授	理学部A棟	503	生物学科	分子細胞科学講座	内海 利男	ウチウミトシオ	教授	生命環境棟	703-4
		斎藤 吉助	サイウキチスケ	教授	理学部A棟	512			長束 俊治	ナツカ シュンジ	教授	生命環境棟	703-3
		鈴木 有祐	スズキ ユウスケ	准教授	理学部A棟	505			加藤 朗	カウ アキラ	准教授	理学部C棟	215
	構造数理学講座	吉原 久夫	ヨシハラ ヒサオ	教授	情報理工棟	302		伊東 孝祐	イトウ コウスケ	助教	生命環境棟	705	
		羽鳥 理	ハリ オサム	教授	情報理工棟	505		和田 清俊	ワダ ケイジュン	教授	理学部C棟	219	
		秋山 茂樹	アキヤマ シゲキ	准教授	理学部A棟	509		菊山 宗弘	キクヤマ ムネヒロ	教授	理学部C棟	224	
	情報数理学講座	磯貝 英一	イソガイ エイチ	教授	情報理工棟	510		前野 貢	マエノ ミツグ	准教授	生命環境棟	303-2	
		印南 信宏	インナミ ノブヒロ	教授	理学部A棟	508		岩崎 俊介	イワサキ トシスケ	准教授	理学部C棟	217	
		竹内 照雄	タケウチ テルオ	教授	理学部A棟	506		井筒 ゆみ	イヅツ ユミ	助教	生命環境棟	303-1	
		渡邊 恵一	ワタナベ ケイチ	准教授	理学部A棟	501		細野 正道	ホソノ マサミチ	教授	生命環境棟	306-5	
		蛭川 潤一	ヒルカワ ジュンイチ	准教授	情報理工棟	506		杉本 健吉	スギモト ケンキチ	准教授	生命環境棟	306-1	
	自然科学研究科 情報理工学専攻	田中 環	タナカ タマキ	教授	情報理工棟	509		藤間 真紀	トウマ マキ	助教	生命環境棟	305-1	
		山田 修司	ヤマダ シュウジ	准教授	情報理工棟	405		生物学科事務室			理学部C棟	208	
		数学科事務室			理学部A棟	516		地球物質科学講座	赤井 純治	アカイ ジュンジ	教授	理学部A棟	401
	物理学科	宇宙物理学講座	家富 洋	イエトミ ヒロシ	教授	物質生産棟			703	志村 俊昭	シムラ トシアキ	准教授	理学部A棟
松尾 正之			マツオ マサユキ	教授	理学部A棟	212	栗田 裕司		クリタ ヒロシ	准教授	生命環境棟	406-1	
宮田 等			ミヤタ ヒトシ	教授	理学部A棟	206	地球進化学講座		松岡 篤	マツオカ アツシ	教授	生命環境棟	406-2
川崎 健夫		カワサキ タクオ	准教授	理学部A棟	204	豊島 剛志			トヨシマ ツヨシ	教授	生命環境棟	106-2	
谷本 盛光		タニモト モリミツ	教授	理学部A棟	208	新川 公		ニイカワ イサオ	准教授	理学部A棟	414		
山田 裕		ヤマダ ユウ	教授	物質生産棟	701	高澤 栄一		タカサワ エイチ	准教授	理学部A棟	415		
小池 裕司		コイケ ユウジ	准教授	理学部A棟	214	小林 健太		コバヤシ ケンタ	講師	生命環境棟	106-1		
粒子科学講座		浅賀 岳彦	アサカ タケヒコ	准教授	理学部A棟	210	宮下 純夫	ミヤジタ スミオ	教授	理学部A棟	417		
		渡辺 一也	ワタナベ カズヤ	助教	理学部A棟	209	栗原 敏之	クリハラ トシユキ	准教授	理学部A棟	410		
		物性科学講座	土屋 良海	ツチヤ ヨシミ	教授	物質生産棟	712	地質科学科事務室			理学部A棟	406	
	大野 義章		オノ ノリアキ	教授	物質生産棟	702	久保田 喜裕	クボタ ヨシヒロ	准教授	理学部A棟	427		
	中野 博章		ナカノ ヒロアキ	准教授	理学部A棟	201	地球環境科学講座						
大坪 隆	オオツボ タカシ		准教授	物質生産棟	563	嗣島 浩一	ソエジマ コウイチ	准教授	物質生産棟	651			
柳瀬 陽一	ヤナセ ヨウイチ		准教授	物質生産棟	704-2	彦坂 泰正	ヒコサカ ヤスマサ	准教授	物質生産棟	651			
自然科学研究科 自然構造科学専攻	奥西 巧一	オクニシ コウイチ	准教授	物質生産棟	704-1	卯田 強	ウダ ツヨシ	講師	理学部C棟	105			
	後藤 輝孝	ゴトウ テルタカ	教授	物質生産棟	710	濱口 哲	ハマグチ サトシ	教授	理学部A棟	313			
	大原 謙一	オハラ ケンイチ	教授	理学部A棟	215	高橋 正道	タカハシ マサミチ	教授	理学部C棟	108			
	西 亮一	ニシ リョウイチ	准教授	理学部A棟	217	酒泉 満	サカイ ミツミツル	教授	理学部A棟	313			
	根本 祐一	ネモト ユウイチ	准教授	物質生産棟	710	林 八寿子	ハヤシ ヤスコ	准教授	理学部C棟	110			
	石川 文洋	イシカワ フミヒロ	助教	物質生産棟	705	松岡 史郎	マツオカ シロウ	准教授	理学部C1棟	385			
	新原 佳弘	シンハラ ヨシヒロ	助教	物質生産棟	258	上井 進也	ウワイ シンヤ	准教授	理学部C1棟	384			
	遊佐 洋右	ユサ ヨウスケ	助教	理学部A棟	203	湯川 靖彦	ユカワ ヤスヒコ	教授	理学部C1棟	388			
	吉田 賢市	ヨシダ ケンイチ	助教	理学部A棟	207	浮田 甚郎	ウキタ シンロウ	教授	理学部A棟	420			
	物理学科事務室			理学部A棟	220	臼井 聡	ウスイ サトシ	准教授	理学部C1棟	389			
化学科	無機物質化学講座	徳江 郁雄	トクエイ オウ	教授	情報理工棟	304	本田 明治	ホンダ アキハル	准教授	理学部C棟	107		
		工藤 久昭	クドウ ヒサアキ	教授	理学部C棟	320	自然環境科学科事務室			理学部C棟	111		
		丸山 健二	マルヤマ ケンジ	准教授	情報理工棟	309	附属臨海実験所	野崎 眞澄	ノザキ マスミ	教授			
	佐藤 敬一	サトウ ケイチ	准教授	物質生産棟	709-1								
	生駒 忠昭	イクマ タダアキ	准教授	物質生産棟	602	化学科	有機物質化学講座	後藤 真一	ゴトウ シンイチ	准教授	理学部C棟	322	
	島倉 紀之	シマクラ ノリユキ	教授	物質生産棟	604			堀米 恒好	ホリメ ツネヨシ	教授	理学部C棟	229	
	長谷川 英悦	ハセガワ エイエツ	教授	物質生産棟	555			古川 和広	フルカワ カズヒロ	准教授	理学部C棟	228	
	古川 和広	フルカワ カズヒロ	准教授	理学部C棟	228			田山 英治	タヤマ エイジ	准教授	物質生産棟	616	
	大鳥 範和	オトリ ノリカズ	教授	情報理工棟	306			自然科学研究科 自然構造科学専攻	岩本 啓	イワモト ハジメ	准教授	物質生産棟	601
	化学科事務室			理学部C棟	313								

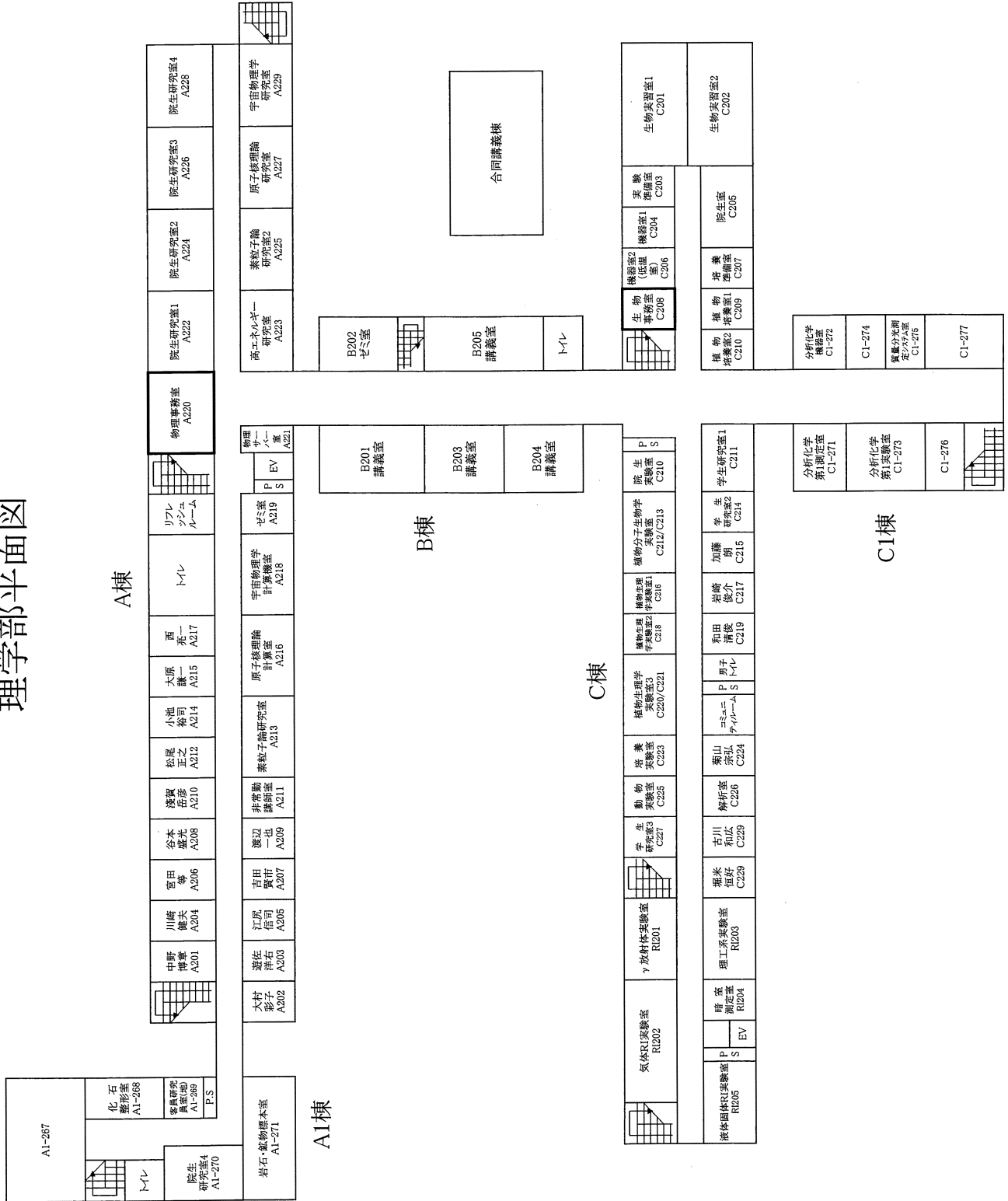
理学部平面図

1階



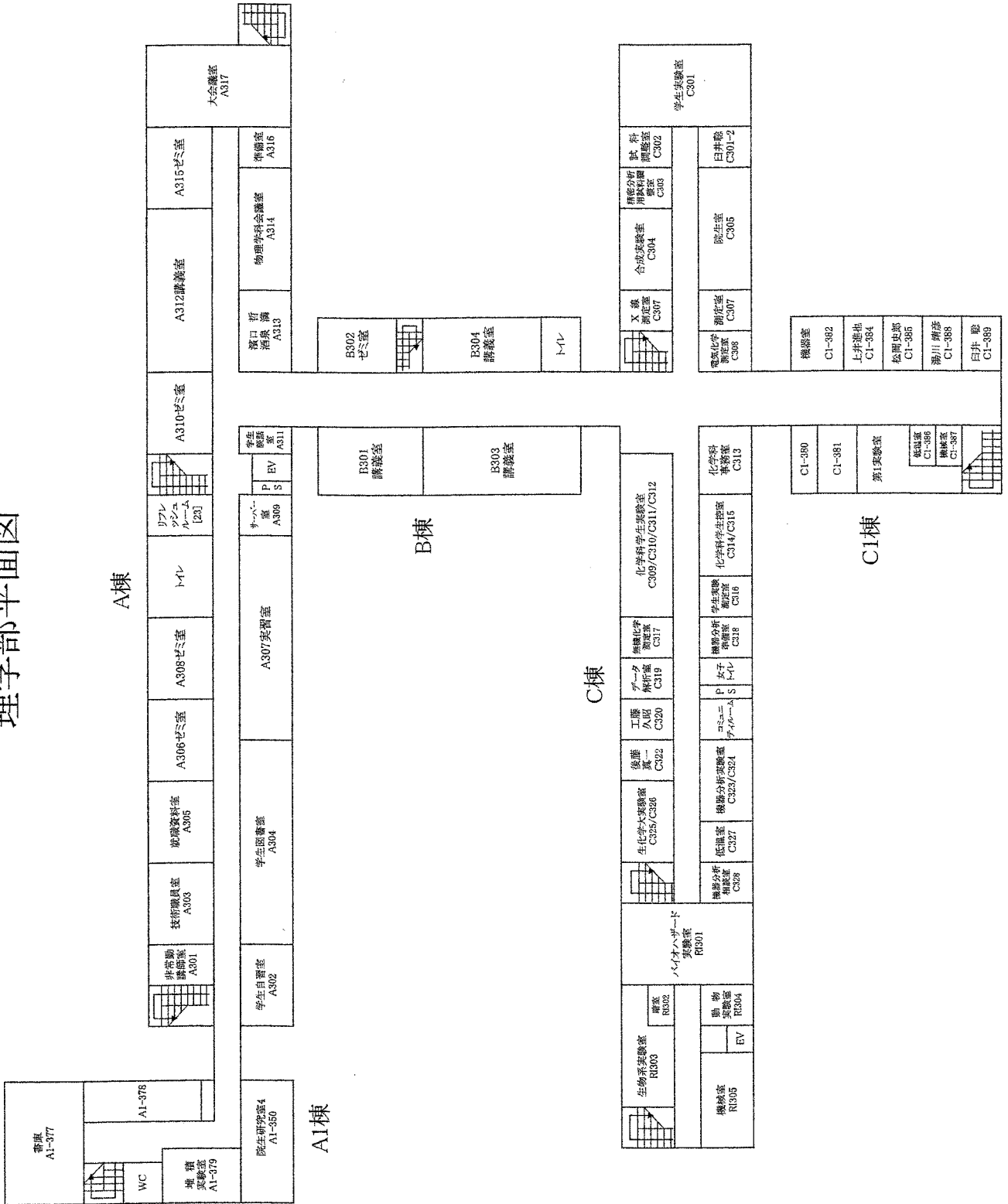
理学部平面図

2階



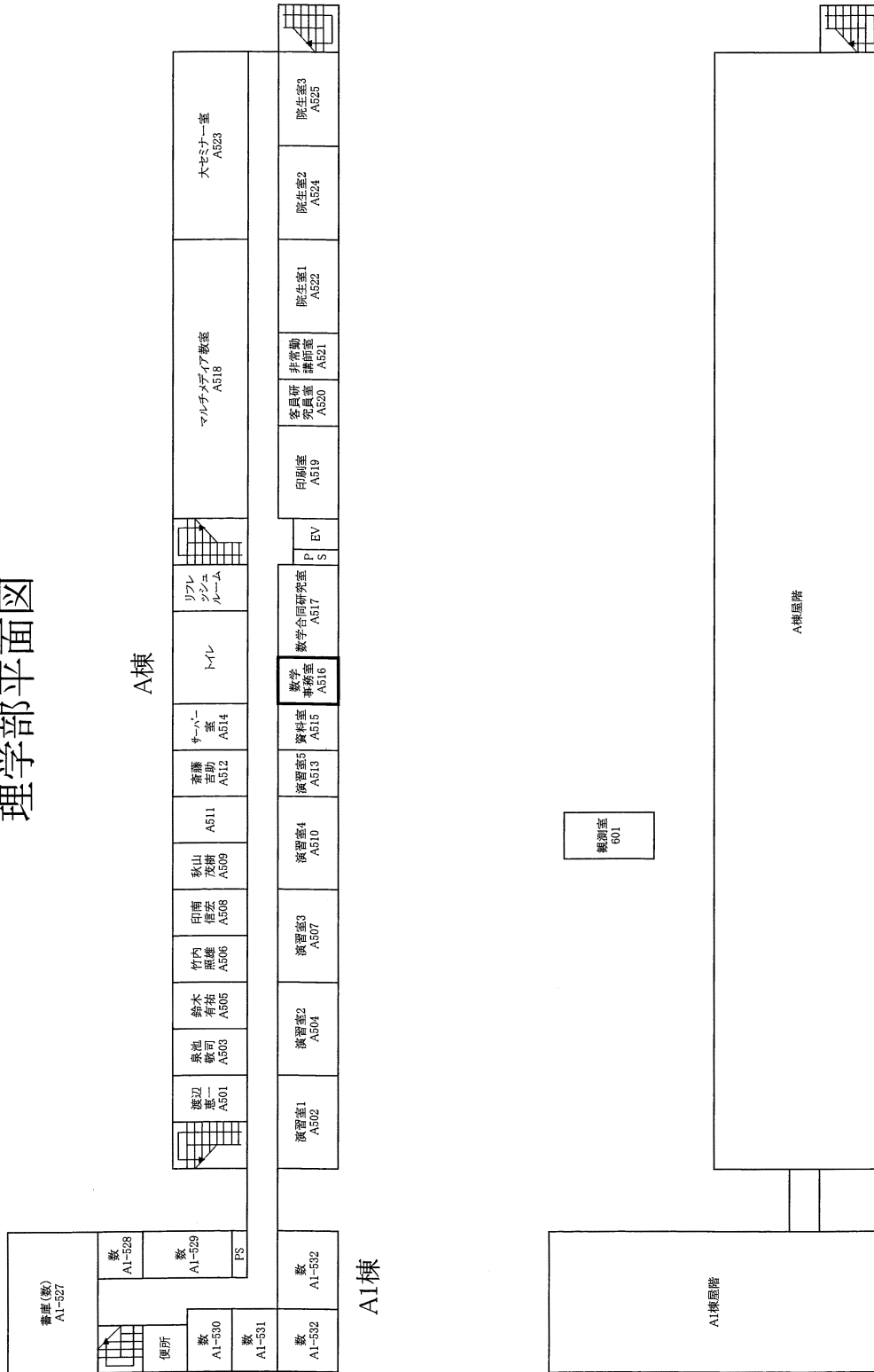
理学部平面図

3階

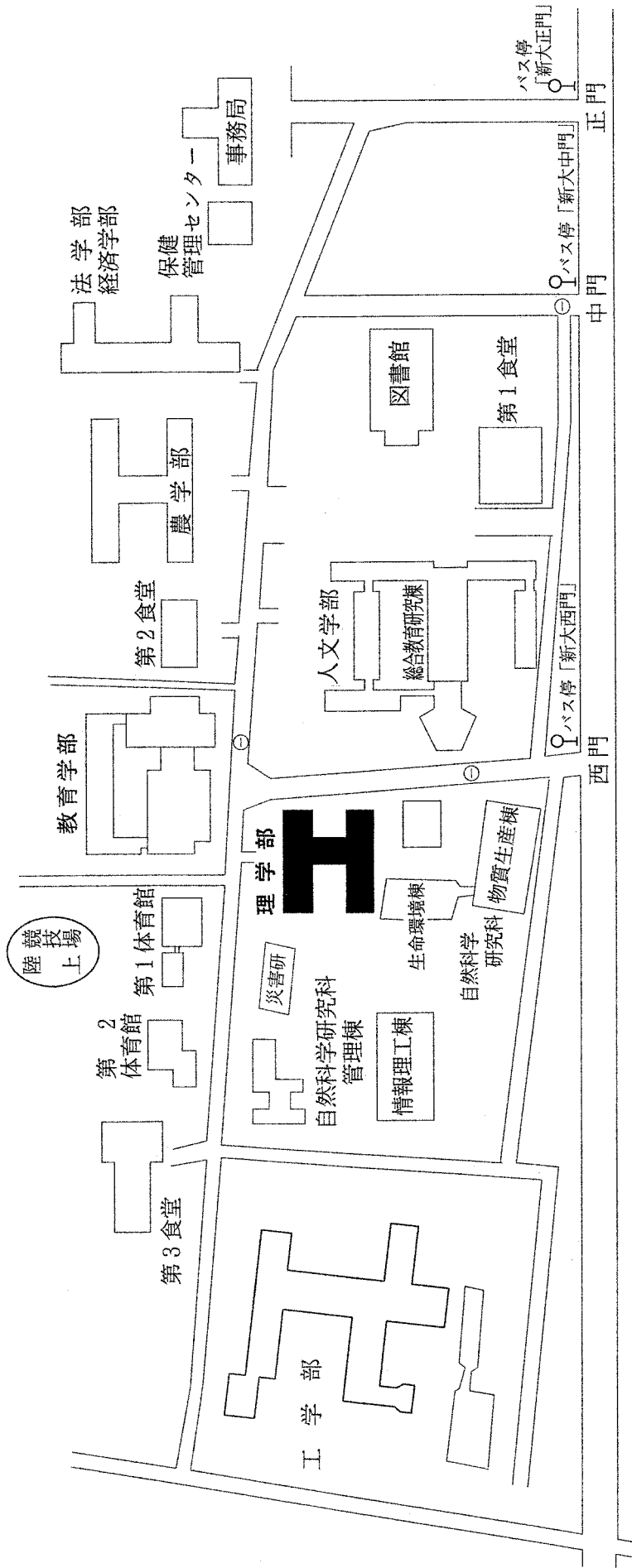


理学部平面図

5階, 屋階



14. 新潟大学理学部周辺案内図



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。